

仙台藩士の故郷を訪ねて

資料館友の会が研修旅行を実施

仙 台 陣 屋 版

安政 3（1856）年に仙台藩士が築いた白老元陣屋が、国の史跡に指定されてから 50 年目を迎えました。これを記念し、日頃から資料館でボランティア解説を担って下さっている友の会では、仙台市・石巻市・塩釜市・松島町など藩士の縁の土地を巡る、視察・研修旅行を実施しました。

昨年度から計画を練り始め、訪問先や時期を選出。白老町みんなの基金の助成を受けて、8 月 25 日（木）～27 日（金）に会員 3 名が、藩士の故郷を訪ねることが決まりました。

これまで、友の会では何度か同地方での研修を実施してきました。7 年ぶりとなる今回は、過去にまだ訪れたことのない石巻市も旅程に含め、幕藩時代の要港であった地域へ足を踏み入ると共に、東日本大震災による復興の状況も実見することとなりました。



<奥州一之宮 塩釜神社を参拝>



<慶長遣欧使節船ミュージアムを見学>



<松島町の瑞巖寺でガイドの案内を受ける>

初日はまず仙台市役所へうかがい、稲葉副市長へご挨拶した後、仙台総鎮守として知られる愛宕神社へ訪れました。神社でも震災の被害は大きかったようですが、既に改修なども済まされていて、関係者の方々もお元気だったそうです。

翌日は北へ進路を取り、石巻市の「慶長遣欧使節船ミュージアム」を見学しました。午後には市街地で震災伝承ボランティアの皆さんと交流。津波が押し寄せたときの映像では、白老駅ぐらい海と離れている地域が、あっという間に波に飲まれていたようです。藩祖政宗の位牌が祀られる松島町瑞巖寺でも立派な杉並木が津波を受け、ほとんどが切り倒されたとのこと。国宝の本殿などの拝観は可能でしたが、大規模な改修工事が途中ということもあって、全体の見学はまたの機会を伺うことになりました。

最終日は塩釜神社で昇殿参拝し、権禰宜から丁寧な案内をしてもらいました。仙台市に戻ってからは内部改装を終えた仙台市博物館や政宗公の霊廟である瑞鳳殿にも立ち寄り、とても充実した研修を果たせたようです。

第 129 号

(平成 28 年 10 月号)

発行: 仙台藩白老元陣屋資料館

〒059-0912 白老町陣屋町 681-4

TEL&FAX 0144-85-2666

しらおいを学ぶ秋のママ知識講座

教育委員会では 2020 年の国立アイヌ民族博物館開設に向け、改めて白老町の歴史・文化の魅力に触れてもらうべく、計 8 回の定期講座を開講しています。

下半期も引き続き白老の色々な姿を知り、参加される方々がお互いに交流を深める機会となるよう、魅力ある講座を計画していきます。10 月には 2 回の講座を催しますので、是非ともご参加ください。

第2回座学講座

「古老が語るアイヌ文化伝承のこれまでとこれから③」

日 時：10月8日（土）
10時00分～11時30分

講 師：中村齋氏、下河ヤエ氏
（両氏による対談形式の講座です）

会 場：いきいき4・6 第2研修室

申 込：要予約（30名まで）



< 第1回の講座はアイヌ民族博物館で行いました >

第3回散策講座

「白老の沢あるき～白老滝をめざす～」

日 時：10月29日（土）
9時30分～12時00分

講 師：白老山岳会
集 合：白老コミセン
（バスで現地まで移動します）

申 込：要予約（30名まで）



< 第2回は萩の里自然公園で植生観察 >

*申し込みは仙台藩白老元陣屋資料館（85-2666）まで

*情報は広報「げんき」や資料館HPからもご覧いただけます

発行日:平成28年9月20日(火)
発行所:仙台藩白老元陣屋資料館 担当者:平野・工藤
<http://www.town.shiraoidj.jp/bunka/nyai/>
Mail: jinya@town.shiraoidj.jp ☎096-2666

「仙台陣屋から版129号(平成28年10月号)」



< 昔の縄文時代は海の底だった、現白老東高校の校庭から発見されました >



平成28年度埋蔵文化財巡回展『日の出遺跡編』が9月7日(水)よりスタートしました。今回の展示では、日の出遺跡とはどんな遺跡なのか、続縄文・擦文時代はどういった特徴があるのかを、実物資料とパネルで紹介しています。

まずお邪魔したのは白翔中学校です。生徒の皆さんに、町の歴史の一端を知ってもらえれば幸いです。1週間ずつ展示しながら全ての小中学校を巡り、その後は各公民館・コミセンに展示します。白老では数少ない、擦文期の資料をご覧ください。

白老の大昔をお届け

